平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名　荒川化学工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4968　URL　http://www.arakawachem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 末村　長弘
問合せ先責任者　(役職名) 取締役業務統轄部長　(氏名) 延廣　徹　TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	33,311	△8.2	771	△36.6	690	△44.4	119	△81.4
24年3月期第2四半期	36,277	12.4	1,216	△20.9	1,241	△23.6	643	△33.4

(注) 包括利益　25年3月期第2四半期　247百万円　(△78.0%)　24年3月期第2四半期　1,121百万円　(124.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.95	―
24年3月期第2四半期	31.94	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	74,433	37,926	49.4
24年3月期	77,108	37,910	47.8

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　36,776百万円　24年3月期　36,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	11.50	―	11.50	23.00
25年3月期	―	11.50			
25年3月期(予想)			―	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	△0.4	2,100	18.0	2,100	13.0	950	△30.6	47.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 有
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 有
④ 修正再表示	： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	20,150,400 株	24年3月期	20,150,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	11,766 株	24年3月期	11,766 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	20,138,634 株	24年3月期2Q	20,138,661 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12
（７）重要な後発事象 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済の緩やかな回復などはありましたが、欧州の金融危機の影響などによる中国経済の減速もみられ、景気の回復は弱いものとなりました。日本経済も、世界経済の減速や円高などの影響を受け、厳しい状況が続きました。また、欧州や中国などの対外経済環境を巡る不確実性が高まりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、徹底した経費削減を実施するとともに、主原料であるロジンをはじめとする原材料価格の変動に対応した製品価格の改定に努めてまいりました。また、超淡色ロジン、光硬化型樹脂および電子材料用配合製品などの高付加価値製品を中心に拡販を推進してまいりました。海外におきましては、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大を推進してまいりました。

しかしながら、基盤事業における主要製品の国内外での需要低迷に加え、設備投資にともなう減価償却費の増加もあり、収益性が悪化しました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は333億11百万円（前年同期比8.2％減）、営業利益は７億71百万円（同36.6％減）、経常利益は６億90百万円（同44.4％減）、四半期純利益は１億19百万円（同81.4％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

＜製紙薬品事業＞

国内製紙業界は、需要の低迷や輸入紙の増加などにより印刷用紙の生産が引き続き低調に推移するとともに、堅調であった段ボール原紙など板紙の生産も、家電向け等の不振により減少傾向となりました。一方、中国製紙業界においては、紙・板紙の需要の伸びが鈍化しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の販売は低調に推移しましたが、アジア地域での新規採用が進みました。利益面では、台湾、中国における拡販や新たな製品の投入により、全体では微増益となりました。

その結果、売上高は87億91百万円(前年同期比10.0％減)、セグメント利益は４億25百万円(同0.3％増)となりました。

＜化成品事業＞

国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで、低調に推移しました。このような環境のもと、国内事業におきましては、新たな機能を付加した新製品の採用もありましたが、印刷インキ用樹脂や粘着・接着剤用樹脂の販売が低調に推移しました。また、海外事業におきましても、総じて低調に推移しました。利益面では、国内外の販売減少に加え、超淡色ロジンの設備投資にともなう減価償却費の増加により、損失となりました。

その結果、売上高は173億９百万円(前年同期比13.0％減)、セグメント損失は15百万円(前年同期はセグメント利益９億12百万円)となりました。

＜電子材料事業＞

電子工業業界は、スマートフォンの拡大があったものの、薄型テレビやノートパソコンなどの需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、昨年夏場以降の需要低迷から、光硬化型樹脂、電子材料用配合製品および機能性ファインケミカル製品の販売が回復傾向となりました。利益面では、前年度の損失から黒字転換し、増益となりました。

その結果、売上高は70億66百万円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は１億37百万円(前年同期はセグメント損失69百万円)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、56億23百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、32億91百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益（３億６百万円）、減価償却費（16億50百万円）および売上債権の減少（７億63百万円）などにより資金が増加した一方、仕入債務の減少（４億97百万円）などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、18億７百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出（16億39百万円）および関係会社出資金の払込による支出（２億47百万円）が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、14億67百万円の減少となりました。これは、短期借入金の純減少（９億43百万円）、長期借入金の純減少（２億92百万円）および配当金の支払（２億31百万円）が主なものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しは、国内外の景気下振れリスクが高まるなど、予断を許さない状況であります。

通期の連結業績予想につきましては、当第２四半期連結累計期間において、電子材料事業の需要が回復したものの、製紙薬品事業および化成品事業での需要が低迷したことにより、売上高は平成24年５月７日に公表しました前回予想を修正いたします。利益面におきましては、営業利益、経常利益の修正はありませんが、株式市場の低迷により投資有価証券評価損の計上が予想されるため、当期純利益は前回予想を修正いたします。引き続き、徹底したコスト削減や高付加価値製品の拡販などによる利益確保に努めてまいります。

平成25年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	73,000	2,100	2,100	1,200	59.59
今回修正予想（B）	70,500	2,100	2,100	950	47.17
増減額（B－A）	△2,500	0	0	△250	―
増減率（%）	△3.4	0.0	0.0	△20.8	―
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	70,781	1,779	1,858	1,368	67.96

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

連続プラントにおいて、定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,678	5,724
受取手形及び売掛金	27,482	26,774
商品及び製品	6,890	6,774
仕掛品	693	773
原材料及び貯蔵品	5,742	5,684
繰延税金資産	508	635
その他	1,439	1,070
貸倒引当金	△115	△125
流動資産合計	48,321	47,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,700	8,360
機械装置及び運搬具（純額）	9,151	8,225
土地	4,700	4,701
建設仮勘定	50	37
その他（純額）	408	402
有形固定資産合計	23,010	21,727
無形固定資産		
のれん	160	165
その他	634	627
無形固定資産合計	795	793
投資その他の資産		
投資有価証券	4,074	3,752
繰延税金資産	563	562
その他	350	292
貸倒引当金	△7	△8
投資その他の資産合計	4,981	4,599
固定資産合計	28,786	27,120
資産合計	77,108	74,433

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,782	11,318
短期借入金	12,131	11,075
未払法人税等	197	152
未払消費税等	36	215
賞与引当金	810	912
役員賞与引当金	37	18
修繕引当金	―	79
資産除去債務	15	―
設備関係支払手形	90	157
その他	3,720	2,704
流動負債合計	28,822	26,633
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	3,080	2,619
繰延税金負債	64	66
退職給付引当金	1,920	1,832
修繕引当金	51	―
資産除去債務	84	85
その他	173	270
固定負債合計	10,375	9,874
負債合計	39,197	36,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	31,065	30,953
自己株式	△11	△11
株主資本合計	37,532	37,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	447
為替換算調整勘定	△1,281	△1,091
その他の包括利益累計額合計	△703	△644
少数株主持分	1,081	1,149
純資産合計	37,910	37,926
負債純資産合計	77,108	74,433

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	36,277	33,311
売上原価	29,501	27,087
売上総利益	6,775	6,224
販売費及び一般管理費	5,558	5,452
営業利益	1,216	771
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	62	59
不動産賃貸料	58	58
操業補償金	－	50
その他	108	75
営業外収益合計	232	247
営業外費用		
支払利息	147	144
持分法による投資損失	－	0
為替差損	26	29
操業休止関連費用	－	133
その他	33	21
営業外費用合計	207	329
経常利益	1,241	690
特別利益		
固定資産売却益	104	0
負ののれん発生益	12	－
特別利益合計	117	0
特別損失		
固定資産除売却損	25	12
災害による損失	93	－
固定資産評価損	3	－
投資有価証券売却損	0	－
投資有価証券評価損	22	372
特別損失合計	146	384
税金等調整前四半期純利益	1,211	306
法人税、住民税及び事業税	286	201
法人税等調整額	180	△51
法人税等合計	467	149
少数株主損益調整前四半期純利益	744	156
少数株主利益	101	36
四半期純利益	643	119

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	744	156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206	△130
為替換算調整勘定	582	228
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△7
その他の包括利益合計	376	90
四半期包括利益	1,121	247
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,006	178
少数株主に係る四半期包括利益	115	68

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,211	306
減価償却費	1,511	1,650
のれん償却額	23	22
負ののれん発生益	△12	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3	10
賞与引当金の増減額（△は減少）	44	102
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△20	△19
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△67	△89
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△61	－
災害損失	93	－
投資有価証券評価損益（△は益）	22	372
投資有価証券売却損益（△は益）	0	－
固定資産除売却損益（△は益）	△79	11
受取利息及び受取配当金	△65	△64
支払利息	147	144
持分法による投資損益（△は益）	－	0
売上債権の増減額（△は増加）	△201	763
たな卸資産の増減額（△は増加）	△725	122
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,123	△497
その他	121	532
小計	823	3,368
利息及び配当金の受取額	67	65
利息の支払額	△153	△154
災害損失の支払額	△91	－
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△230	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	416	3,291
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△0	－
有形固定資産の取得による支出	△2,525	△1,542
有形固定資産の売却による収入	718	126
投資有価証券の取得による支出	△208	△12
投資有価証券の売却による収入	0	－
無形固定資産の取得による支出	△149	△97
子会社株式の取得による支出	△32	－
関係会社出資金の払込による支出	－	△247
のれんの取得による支出	－	△30
投資その他の資産の増減額（△は増加）	3	△4
その他	△5	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,199	△1,807

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	419	△943
長期借入れによる収入	2,000	100
長期借入金の返済による支出	△770	△392
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△251	△231
少数株主への配当金の支払額	△13	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,384	△1,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	28
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△322	45
現金及び現金同等物の期首残高	6,333	5,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,011	5,623

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,768	19,884	6,455	36,108	169	36,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	311	311	14	325
計	9,768	19,884	6,767	36,419	183	36,603
セグメント利益又は損失(△)	423	912	△69	1,266	5	1,272

(注)　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,266
「その他」の区分の利益	5
全社費用の配賦差額(注)１	18
営業外損益(注)２	△73
四半期連結損益計算書の営業利益	1,216

(注)１　全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

２　営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、当社の連結子会社である荒川ケミカル（タイランド）社の株式を追加取得いたしました。これに伴い「化成品事業」セグメントにおいて負ののれん発生益を計上しております。

なお、当第２四半期連結累計期間における当該事象による負ののれん発生益の計上額は、12百万円であります。

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,791	17,309	7,066	33,167	144	33,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	198	198	12	210
計	8,791	17,309	7,264	33,365	156	33,522
セグメント利益又は損失(△)	425	△15	137	548	1	549

(注)　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	548
「その他」の区分の利益	1
全社費用の配賦差額(注)１	298
営業外損益(注)２	△76
四半期連結損益計算書の営業利益	771

(注)１　全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
２　営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

該当事項はありません。